

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2024年3月15日 第385号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

13年目の“3・11” 県都水戸でつどい

原発回帰の岸田政権に退場の審判を

自民党の底なしの金権腐敗政治の陰ですすむ、原発稼働推進と戦争準備

東日本大震災と東電福島原発の過酷事故から13年目を迎えた3月11日、水戸駅前で「3・11を忘れない」つどい(茨城革新懇主催)が行われました。

参加者が次々とマイクを握り、「福島 of 深刻な被害は今も続いている」「能登半島地震での大規模な道路の寸断を見れば原発事故からの避難計画は絵に描いた餅だ」「震災のたびに前の震災が生かされていないと言われる。戦争準備ばかりに財政をつぎ込んで、国民の命が後回しにされている」など訴えました。

ひときわ怒りをこめて訴えられたのは、自民党の政治資金パーティーをめぐる裏金・脱税問題でした。数十年におよぶ自民党の組織的犯罪行為の一方で国民には相次いで重税と福祉後

退が押しつけられ、軍事費だけが膨らみ、ついに敵基地攻撃や武器輸出が現実問題になっています。さらに、身近な問題として東海第二原発の再稼働準備への怒りの表明も相次ぎました。

集いには土浦平和の会からも3人が参加。リレートークにも加わりました。



締めくくりのシュプレヒコール、ひときわ目立つ「土浦平和の会」のほり旗

平和行政問題で土浦市と

平和の会からの要望で懇談

2月21日午後、土浦市役所3階で「土浦平和の会」が事前に提出していた「土浦市の平和行政に係る要望」にもとづく懇談が行われました。市側からは担当課長など2名、平和の会からは理事4名が参加しました。安藤市長は「日程の都合がつかなかった」として参加しませんでした。

市からは「回答書」が提出され、全項目についての説明があり、それを受けての懇談が行われました。土地利用規制法については国(内閣府)における対応の現状が報告されるのみで、特に前進と評価できる回答内容はありませんでした。全体的には双方の理解を深める前向きな懇談になりました。

※紙面の都合で、詳細は別の機会にお知らせいたします。
※他に「平和の木」の標識に関わる要望も伝えました。
これについては別途詳細を報道予定です。

土浦市平和行政に係る要望【要望項目と要点のみ】

1. 「土地利用規制法」について
「土地利用規制法」は、施設周辺の土地、建物、居住者の行動や思想信条をも調査する権限を国に付与するなどの問題がある。県平和委員会は、昨年9月「土地利用規制法」に関連する自治体首長あて要請文を送付している。それに対する回答を求める。
2. 自衛官募集対象者情報の提出について
対象者名簿の作成および交付はしないこと。
3. 土浦市の平和行政の継続と充実について
5項目の要望 ①中学生の広島への平和使節団派遣、②原水禁平和行進への賛同・協力、③平和と人権の集いや原爆展など市の平和行事の継続、④戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝える取り組み、⑤戦争体験者や被爆者による出前講座、講演会など平和学習の推進
4. 東海第二原発の再稼働について
再稼働を認めないよう、市長の立場から県や関係市町村に働きかけること。
5. 気候変動について
省エネ、再エネなど実効ある積極的な取り組みを進めること。

基地と戦跡巡り 県平和委員会が見学会

武器学校(阿見)・鹿島海軍航空隊跡(美浦村)

「平和を考える場所として後世に」

3月9日、県平和委員会は県内の自衛隊基地、戦跡巡りの一環として、阿見町青宿にある武器学校（陸上自衛隊土浦駐屯地）と美浦村にある鹿島海軍航空隊跡を見学しました。

武器学校は昔の予科練です。昭和20年6月10日、B29による爆撃で予科練生や近隣住民300名が亡くなりました。大岩田の法泉寺前には予科練生の名を刻んだ慰霊碑があります。武器学校はHPによると、後方支援部隊など指揮官幕僚を養成する兵站・運用教育、各種装備品の整備員を養成する整備及び専門技術などの教育を実施しています。

見学では、広報担当官が見学コースに展示されている戦車や大砲、銃器について性能、威力、時代ごとの変遷など詳しく説明してくれました。TVや映画では戦車や大砲を目にしますが、何十トンもある戦車や大砲弾を目の当たりにし、触れてみて、やはり迫力があります。兵器は人の殺傷や物の破壊を目的とする戦争装置であることには変わりありません。それに勝るには、何といたって兵器を使う必要のない世界にすることではないでしょうか。

次に向かったのは美浦村の大山公園にある鹿島海軍航空隊跡です。ここは国内最大の海軍基地として1938年（昭和13年）に予科練生などの飛行訓練生の水上機の訓練基地として設立されました。霞ヶ浦に面した広大な敷地（27ha、東京ドーム6個分）には、



武器学校見学



廃墟のボイラー棟

放置され廃墟となっている当時の本庁舎、ボイラー棟、発電所棟、自動車倉庫、燃料保管室などの史跡が点在し見どころには事欠きません。手つかずのまま残されている貴重な戦跡ということもあって、「ゴジラー1」、「ラーゲリより愛をこめて」、「スパイの妻」などの映画やドラマのロケ地として使われています。

戦跡の保存については、当初は美浦村は本庁舎などを取り壊しフットサル運動場として整備する予定でしたが、戦跡の保存を望む声に押され、戦争遺跡群公園として残すことになりました。現在「プロジェクト茨城」が指定管理者となって保存活動に取り組んでいます。昨年7月から公開されており、観光やロケ地としての活用だけでなく、広島原爆ドームのように戦争の記憶を後世に残すことで、平和や戦争について考える場所として活用されることを期待します。（土浦平和の会 近藤事務局長）

消費税減税・インボイス廃止訴えデモ行進 3・13重税反対全国統一行動土浦集会 議員は裏金・脱税、 庶民には重税 許さない！

3・13重税反対全国統一行動の土浦集会が市役所前大屋根広場で開催され、続いて土浦税務署に向けたデモ行進が行われました。

この行動は、1970年から始まり今年で54回目を迎えました。納めるべき税額は自分で計算し申告するという国民の一大行事です。

主催者（土浦民商など）や激励挨拶で一様に語られたのは、インボイスはじめ国民には冷酷な重税を押しつける政権が裏金まみれで、不法な税金逃れを数十年にわたって続けていた事への激しい怒りの表明でした。



集会後、土浦税務署までデモ

ご案内

憲法共同センター次回行動は 3/18

3月街頭アピール行動

暮らし壊して 軍事費倍増 許せない！

3月18日(月) 午前10時～

ケーズデンキ真鍋店前

思い思いの
メッセージ・
メッセージを
フラカードを
持って参加く
ださい



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）：月額593円(送料含)



土浦平和の会